

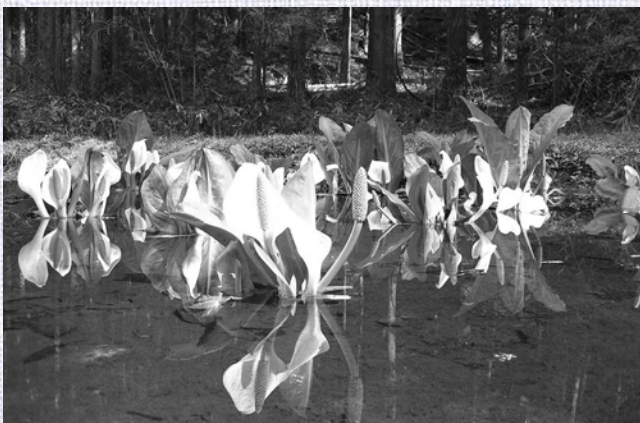
山里の美しい風習 花まつり



5月4日、吉田塚越地区で、230年以上の歴史を持つ、塚越の花まつりが行われました。地区の子供たちが、前日までに用意した花を一斉に撒きながら、誕生仏を安置した花御堂を、熊野神社から山腹の米山薬師堂まで静かに運び、御釈迦様の誕生を祝いました。

花のじゅうたんとなった会場は、浄土を想わせる美しい風景となりました。

花言葉「美しい思い出」



今年も荒川日野地内において、水芭蕉の花が美しく咲きました。変わらぬ美しさを持つ水芭蕉は、近づけば上品な香りが漂い、見ているものの五感を癒します。是非とも一度ご覧になってはいかがでしょうか、皆さんの美しい思い出となるはずですよ。

椿森春大祭 秩父歌舞伎の上演



4月29日、椿森春大祭にて秩父歌舞伎正和会による秩父歌舞伎の上演が行われました。

舞台裏では化粧が施され、スタッフによって着付けやかつらの装着がされると役者は華やかな装いとなりました。

諏訪神社の付設舞台は市の有形民俗文化財に指定されており、まわり舞台の回転とともに役者が登場すると観客から感嘆の声が起こりました。

ちちぶ トピックス

ジオパーク秩父ガイドウォーク



4月29・30日、5月3・4日の4日間、秩父まごどジオパーク推進協議会によるジオパーク秩父ガイドウォークが開催されました。

5月3日は見ごろを迎えた芝桜の丘からスタートし、ちちぶ銘仙館や番場通り、秩父神社を巡り、秩父まつり会館で解散となりました。多くの観光客が参加し、秩父の地形や歴史について学ぶことができました。

山あいの斜面にこいのぼり



大滝栃本地区の山あいに、約100メートルにわたってこいのぼりが飾られました。地元有志の方々が昨年からの「地域のにぎわいを復活させよう！」と、この時期に実施しています。家庭で使われなくなった青、赤、黒など色とりどりのこいのぼりたちが30匹余り連なって、新緑と青空の中で元気に泳いでいました。

天然記念物チチブイワザクラ



4月21日から5月7日の期間、武甲山資料館にて、国の天然記念物に指定されているチチブイワザクラが展示されました。

チチブイワザクラは武甲山の石灰岩地に適応した特殊な植物ですが、絶滅が危惧されており現在は武甲山の立ち入り禁止区域に自生するのみです。その愛らしい姿をお披露目する貴重な機会となりました。